

曾

袞

好

忠

集

傳

爲

氏

筆

圖書館理 善本叢書和書第四卷 平安諸家集(抽印本)

発行 昭和四十七年十一月十四日

編集 天理圖書館善本叢書和書編集委員會

代表 野間光辰

刊行天理時報社

編集天理大學出版部

代表山中忠昭

制作発売

会社天理大學出版社

代表八木敏夫

八木書店

東京都千代田区神田神保町一丁四五五

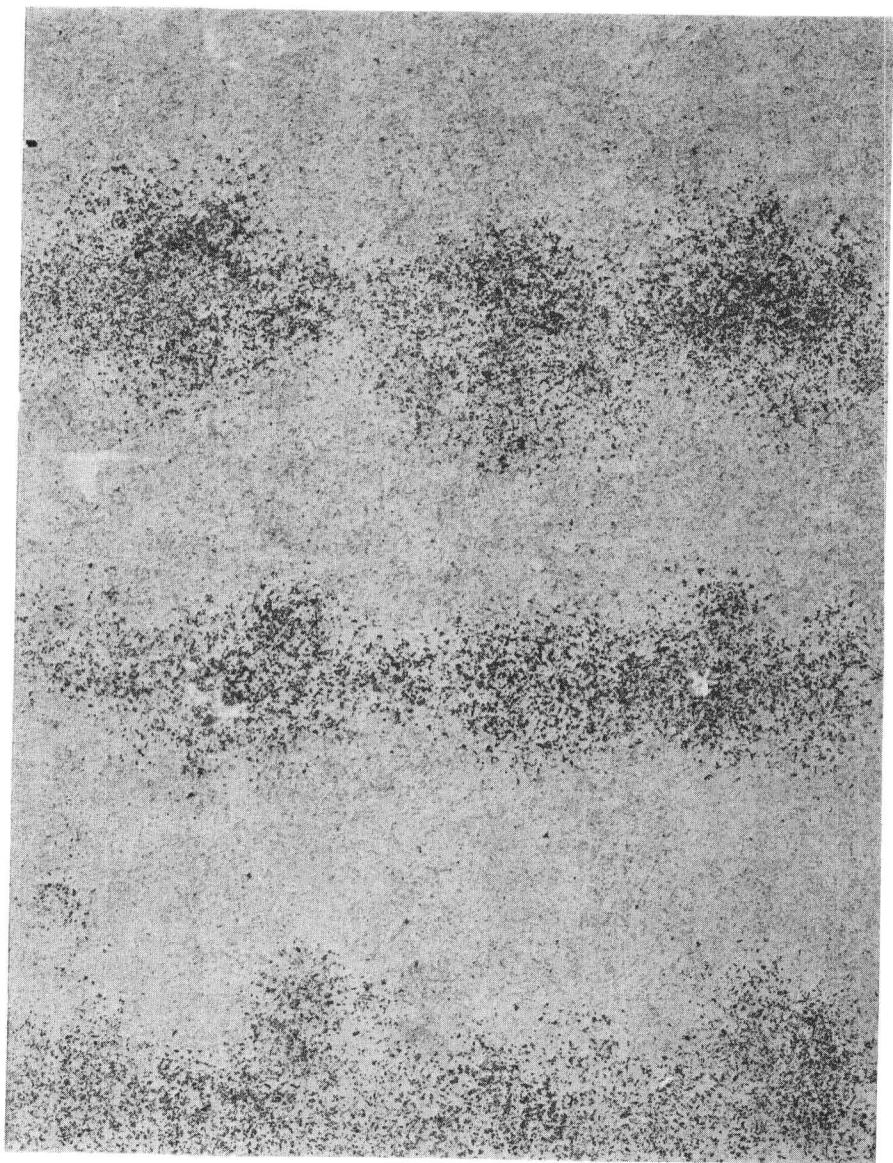
振替 東京二四七番 電話〇三(29)二九六五

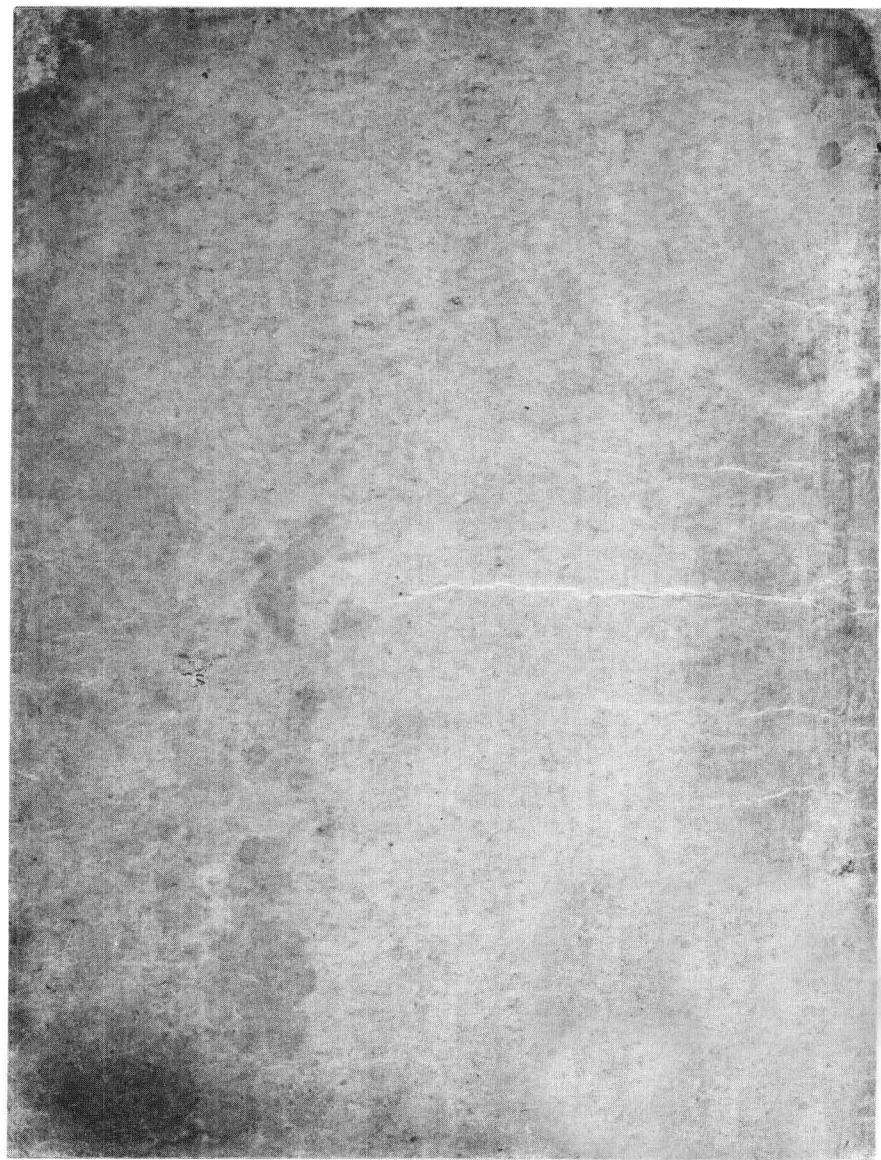
製本 橋本製本所

不許複製 天理圖書館 八木書店

先に配本した本叢書第四巻
『平安諸家集』中の「曾根
好忠集」に原本の錯簡が発
見されたので、ここに訂正
抽印本を上梓する。







雨が止り日は昇るに止ま
れぬのを、行くなよもうか。いとまし
かほりとじやうよまはんたくへとま
まくつまくよきと風はかまくら
かやかせ、いとまのいとまうとくいとまく
くわがむかしと我とあはれとく、いとま
もとめうさくとめうさくとく、いとま
うかじんが、いとまくはくとくわく
きくふとくとくのくとくとくとくとく

モー、おの葉乃じつ秋乃ぬへ月乃
モニテ、夏の來、勞れより、
曉より、三日うちよふに、あれどおの
度まで、一箇月、しやくばく、
人ノ居るに、まゝの、いづれに、むかひ、
イづれあるが、わが、人ノ居るに、

春の草先

やまとはるのくわきあわせ
はとえいりふくすすみ小ちり
あけくふくよかけくらひの
うすとけまへ水すやすらる
がくとこりよまのむけりつる
もよのひきつめうすくすく
くすりやけくらむくらむく
のさかまくべくらのたまは

萬事無事の如き
ありしれぬ事より
はやまふりやうと
どくすむわざの所（小字）
やまとひがしまつて
わふたじよのく
ひさみのまなれ、わ
のくは

肩中

かほまされまくらひれ
やすのうきうきとけりゆる
すまへあまはまくらひ
いはくまくらひくらひ
かほのうきまくらひ
まめいにまくらひまくら

もるまにうりとへうらやう
雨の先御の席でさせふる
さくらまほのじし井のゆゑ
さくらのよめのやまはいすきり
花のみ生むるのうき
うきすきのまこと尼ねのに
本をあせりうけいすのあく
ねぎりつしまのさくまくして
ものとすれねれぬれし
やさすわざを望むともちまと

：

：

：

ゆまゆまに山を登り

かのゆふとよむすわの草の
花はるひ人うへま

西朝にゆり

雪くらはすけの雪をこ水まゆ
まゆうさりれゆき
あされまゆまよすゆのゆき
ゆきゆきゆきゆきゆき
あきゆきゆきゆきゆきゆき
河すすむのゆきゆき

小ほのとれぬも極りとしか、
われより一せりて乍らもれ
そよぐとくまつゆよひゆきわれ葉を
失はばくまの浪にまくす
もろいとくふけ
すうすうとくまくす
すなはすみくまくす
花えんとくまくす
まくすとくまくす

よりまんまとのゝわふ
梅うれ、すこしも
むけよのととあ、すくまつて
わがふるく人すまうな
もはまくまくまくまくまく
ゆすすれ小舟をかけま
とくわづなまひにまく
おぎすらまのやまくまく
すせよやまくまくまく
やまくまくまくまくまく